

# セジロウンカ

【 学名 : *Sogatella furcifera* 】



## 【見分け方】

セジロウンカは「夏ウンカ」とも呼ばれ、4～5mm前後で背面中央に白い筋のあるウンカです。幼虫は白っぽく、灰色の雲形の模様があります。

## 【発生生態】

セジロウンカもトビイロウンカと同様に、梅雨時期に中国大陸から下層ジェット気流に乗り日本に飛来し、水田内では1～3世代発生します。しかし、出穂後は稲が食料として不適になるので、その水田からは移出してしまいます。

## 【被害】

- ・多発時、茎から養分を吸い、稲の生育を抑制します。
- ・葉鞘に産卵することで稲の生育を抑制します。
- ・排せつ物にはすす病が発生し、稲が黒く汚れます。
- ・穂から吸汁することにより、変色米、ウンカ斑点米を発生させます。また、登熟歩合が低下してしまいます。
- ・また、南方黒筋萎縮病ウイルスを伝搬し、品種によっては激しく発病することがあります。  
注意すべき品種：もちだわら、タカナリ、ミズホチカラ、北陸193号、はまさり、ルリアオバ、モミロマン、モグモグあおば。

## 【防除のめやす】

要防除水準（25株払い落とし虫数）

「移植後1週間 成虫飛来期に 成虫2頭以上／株」

「幼穂形成期～穂ばらみ期に 10頭以上／株」